



「音楽のまち・かわさき」×「映像のまち・かわさき」企画



人口150万人都市記念事業

九ちゃんの歌とともに振り返る 川崎のあのころ

高度成長期



©坂本九音楽事務所

九ちゃんが活躍した高度成長期のあのころ

舞坂ゆき子さんの トーク&ミニライブ



市政ニュース映画を上映

（ゲスト解説） フェリス女学院大学 春木 良且 教授

平成 29年 **11月13日** (月)

観覧の申し込み方法 **先着600名募集**

**入場
無料**

電話またはFAXで、お申し込みください。

「九ちゃんの歌とともに振り返る川崎のあのころ」観覧希望の旨、氏名、人数（5名まで）、電話番号（FAXの場合はFAX番号）をお知らせください。

申込先：川崎市 市民文化局 市民文化振興室（平日8:30～17:00）
電話.044-200-2433 FAX.044-200-3248

開演:14:15～15:45(開場13:45)
会場:川崎市男女共同参画センター
(すくらむ21)



主催：川崎市 後援：「音楽のまち・かわさき」推進協議会、「映像のまち・かわさき」推進フォーラム

企画制作：アングル・キュー 制作協力：坂本九音楽事務所 お問い合わせ：川崎市市民文化局市民文化振興室 TEL:044-200-2433



©坂本九音楽事務所

音楽と映像による坂本九魅力発信事業

九ちゃんの歌とともに振り返る 川崎のあそこ

坂本九ちゃんは、日本の復興、高度成長と併せるように多くのヒット曲を歌い、1961年には誰もが知っている「上を向いて歩こう」で世界的な歌手となりました。

高度成長期、日本が若くて元気だった時代を体現したような歌手が、九ちゃんだったと言えるかもしれません。

川崎市に残る、当時の市政ニュース映像を使って、その頃の日本の様々な変化を、川崎出身の九ちゃんの代表的な歌とともに、辿って行きます。

何より、未来へのヒントがその映像と歌にはあるのです。

(春木良且 教授 談)

舞坂 ゆき子 プロフィール

1996年～2002年に宝塚歌劇団雪組に在籍し『エリザベト』『ノバボサノバ』『アンナカレーナ』など数々の舞台を娘役として踏む。宝塚歌劇団在籍中の2000年には、父である故坂本九との夢のデュエット『SUKIYAKI 2000』を東芝EMIよりリリース。2002年に退団後は、数多くのドラマに出演。

2009年に、幼い頃からの夢であった動物との触れ合いを通じた癒しの時間を提供するドッグライフコンシェルジュの活動を開始。その中で発表した、動物愛護をテーマにした楽曲「ボクものがたり」が話題となる。2010年にCDをリリース。2012年、絵本家いもようこ氏がラジオでOAを聞いた事がきっかけとなり「ボクものがたり」を原案とした絵本が出版された。ドッグウェアブランド『chu♥che(クーチェ)』のプロデューサー、デザイナーとしても活躍中。



©坂本九音楽事務所

市政ニュース映画の解説

【プロフィール】

春木 良且 1956年(昭和31年)生まれ
フェリス学院大学国際交流学部教授。
専門は、情報化社会論、情報哲学など。
戦後社会の変化と技術の進歩を研究しています。
著書に「情報って何だろう」(岩波ジュニア新書)などがあります。

春木 良且 教授

